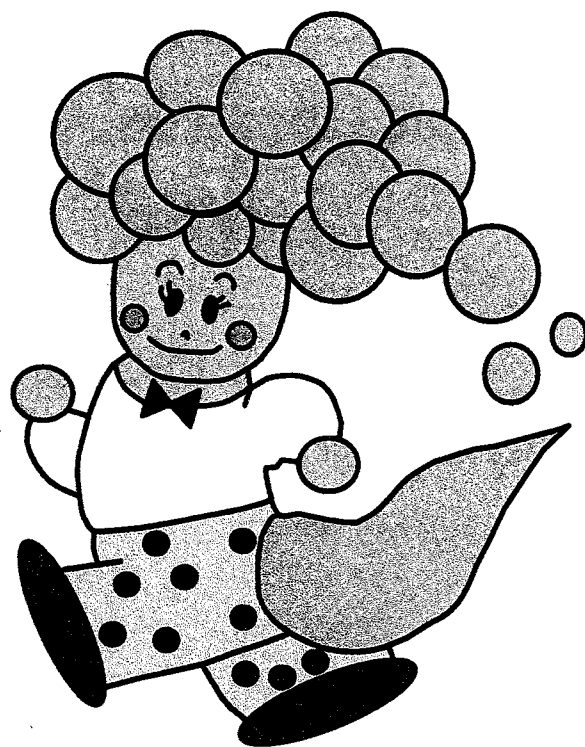


福祉のまちづくり フォーラム



平成25年2月9日(土)
13時30分~15時30分

社会福祉法人上牧町社会福祉協議会

福祉のまちづくりセミナー 資料 「上牧町地域福祉活動計画のイメージ」

上 牧 町 の い ま

(アンケートから)

障害のあることもの将来が不安 一人暮らしになった後の生活が不安 町外勤務者には情報が入りにくい
 地域の交流が少ない まだまだ元気が残っている私たちが役立ちたい 身近で子どもが集まれる場所がない

(地域の現状)

第1類型(旧村地域)

交流の減少
 新住民の増加
 新旧住民の交流機会が少ない

第2類型 (初期ニュータウン)

高齢者の一人暮らしの不安
 近所づきあいの減少
 どこに相談したらいいのわからない

第3類型 (後期ニュータウン)

まだ地域への愛着が薄い
 世代間交流の機会が少ない
 地域に貢献したいがきっかけがない

(関係機関の現状)

本来の活動が十分出来ていない 障害への理解が不十分
 社協との役割分担の明確化 関係機関との連携を強化したい

導き出された課題

身近な地域での関係づくり

気軽に地域活動に参加できる仕組みづくり

暮らしの課題に寄り添う支援

協働に向けたネットワークづくり

テーマ

つ な が り で 紡 (つ む) く 福 祉 の ま ち づ く り

基本目標

1. 身近な地域でのつながりづくり

小地域ネットワークなど自治会区を舞台とした、住民主体の福祉活動の推進と支援をとおして、地域内での顔の見える関係づくりやつながりの強化を図ります。

2. 福祉のまちづくりへ参加できる仕組みづくり

地域福祉に関する情報提供を充実させるとともに、講習会や体験型イベント等を実施し、全ての住民が福祉活動に気軽に参加できる仕組みづくりを図ります。

3. 住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり

住民と専門職が協働し、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らしていける支え合いの仕組みづくりを図ります。

4. 地域福祉推進のための連携と協働の基盤づくり

地域福祉を推進していくためには、地域内の様々な機関との連携や協働が欠かせません。人材育成を含め、連携と協働を促進するための基盤づくりを図ります。

実施事業 (抜粋)

- 住民座談会の開催
- 小地域ネットワーク組織化の支援(23地区)

- 広報誌づくり研修会
- 小中学生を対象とした福祉学習プログラム

- 相談支援事業の強化
- 訪問型子育て支援ボランティア事業の運営

- 職員の資質向上
- 行政・関係団体との連携と協働の推進

民生・児童委員の活動

7つの「はたらき」(役割)

地域における	アンテナ	の役割	(社会調査)
	世話役		(相談相手)
	告知板		(情報提供者)
	パイプ		(連絡通報)
	潤滑油		(調整役)
	生活支援		(生活支援体制役)
	代弁者		(意見具申役)

上牧町福祉活動における 民生・児童委員活動例

分類	世帯数	人口 (世帯人口)	高齢者 (65歳以上) 【高齢化率】	災害時要援護者対象者(見守り)				見守り対 象者合 計	地区担 当委員
				1人暮らし a	75歳以上 の	計(人数) (a+b*2)	その他 見守り		
第1類型 (旧村地域)	2,079	4,457 (2.14)	1,560 【35.0%】	95	20	135	2	137	9
第2類型 (初期ニュータウン)	6,459	15,679 (2.43)	3,882 【24.8%】	602	118	838	78	916	20.5
第3類型 (後期ニュータウン)	1,201	3,651 (3.04)	245 【6.7%】	21	10	41	2	43	4.5
合計	9,739	23,787 (2.44)	5,687 【23.9%】	718	148	1,014	82	1,096	34

近隣町の現状

項目 町	人口※1	民生委員・児童委員数※1		
	面積	地区担当委員	主任児童委員	合計
広陵町	33,407人	48	3	51
	16.33km ²			
上牧町	23,313	34	2	36
	6.14			
王寺町	22,464	41	3	44
	7.00			
河合町	18,288	34	2	36
	8.27			
奈良県	574,106	2,709	307	3,016
	3,691			

※1 平成24年12月

福祉のまちづくりに関するアンケート資料

1. 目的

本調査は、上牧町社会福祉協議会が地域福祉活動計画を策定するにあたり、町内に居住する住民に対して、アンケート調査を行い、地域で活動していく上での問題・課題の把握を行い、計画策定の基礎資料とすることを目的とします。

2. 調査方法

- (1) 調査対象 20歳以上の上牧町民
- (2) 標本数 1000
- (3) 抽出方法 住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査区域 上牧町全域
- (5) 調査方法 郵送方法(料金受取人払いの返信封筒を添えて郵送)
- (6) 調査期間 平成24年8月1日～8月22日

3. アンケートの配布及び回収結果

- (1) アンケート配布数 1000件
- (2) 回収数 531件
- (3) 回収率 53.1%
- (4) 地区別回収状況

自治会名	発送数	回収数	回収率	自治会名	発送数	回収数	回収率
南上牧	24	13	54.2%	金富	9	2	22.2%
五軒屋	4	3	75.0%	梅ヶ丘	7	4	57.1%
三軒屋	9	8	88.9%	友が丘	37	20	54.1%
米山台	128	62	48.4%	片岡台1	37	22	59.5%
新町	16	10	62.5%	片岡台2	27	14	51.9%
北上牧	68	19	27.9%	片岡台3	31	12	38.7%
松里園	67	37	55.2%	アーバン	48	22	45.8%
葛城台	80	46	57.5%	桜ヶ丘1	50	37	74.0%
滝川台	44	28	63.6%	ゆりが丘	19	5	26.3%
緑が丘	25	9	36.0%	桜ヶ丘2	59	40	67.8%
服部台	119	53	44.5%	桜ヶ丘3	58	39	67.2%
下牧	34	24	70.6%	無回答	0	2	-
				合計	1000	531	53.1%

4. 集計処理

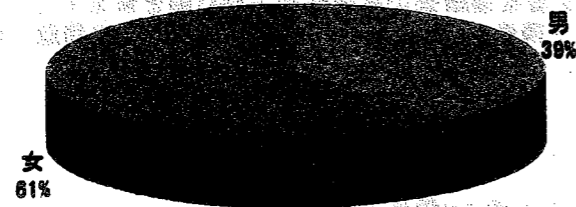
上牧町社会福祉協議会事務局
集計期間：平成24年9月1日～平成24年10月1日

5. 地域の特徴・特色

上牧町社会福祉協議会で地域分析し、上牧町の23地区を3つの類型に分けました。

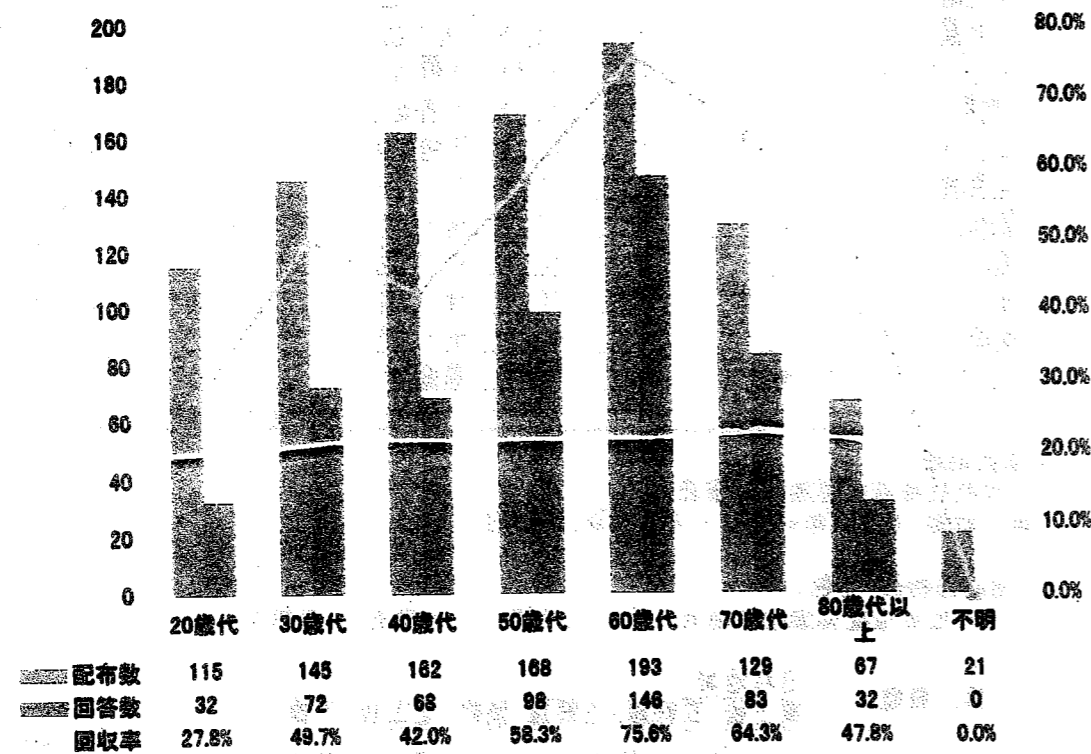
第一類型	旧村地域。 南上牧・五軒屋・三軒屋・新町・北上牧・下牧
第二類型	主に昭和期に開発された初期の新興住宅地。 金富・梅ヶ丘・服部台・松里園・米山台・滝川台・友が丘・片岡台1,2,3・桜ヶ丘1,2,3
第三類型	主に近年に開発された後期の新興住宅地。 緑が丘・葛城台・ゆりが丘・アーバン

あなたの性別を教えてください。



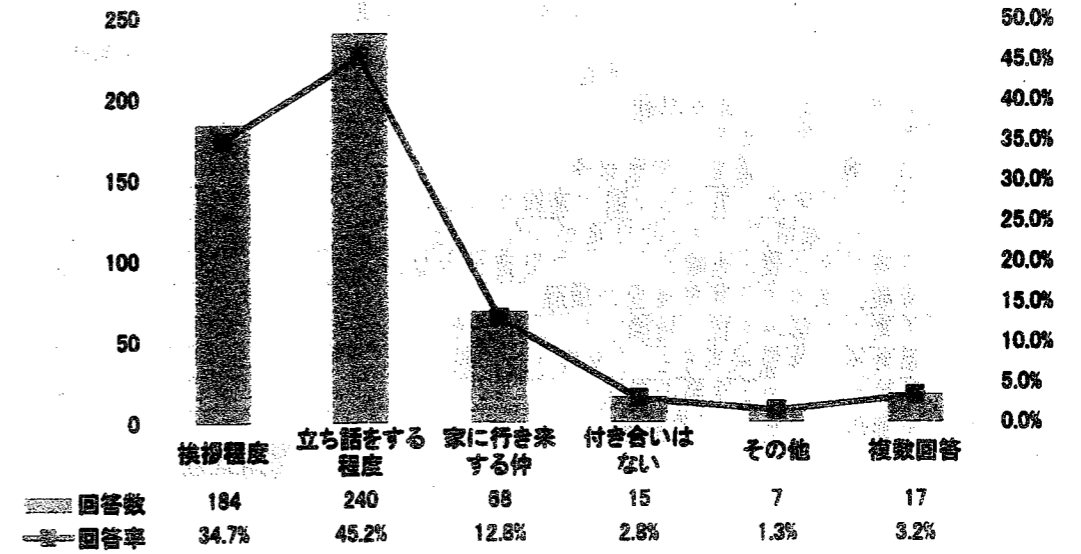
【集計結果の要点】
性別では、女性の回答者が多く80.6%を占めている。これは男性39.4%の約1.5倍にあたります。

あなたの年齢を教えてください。



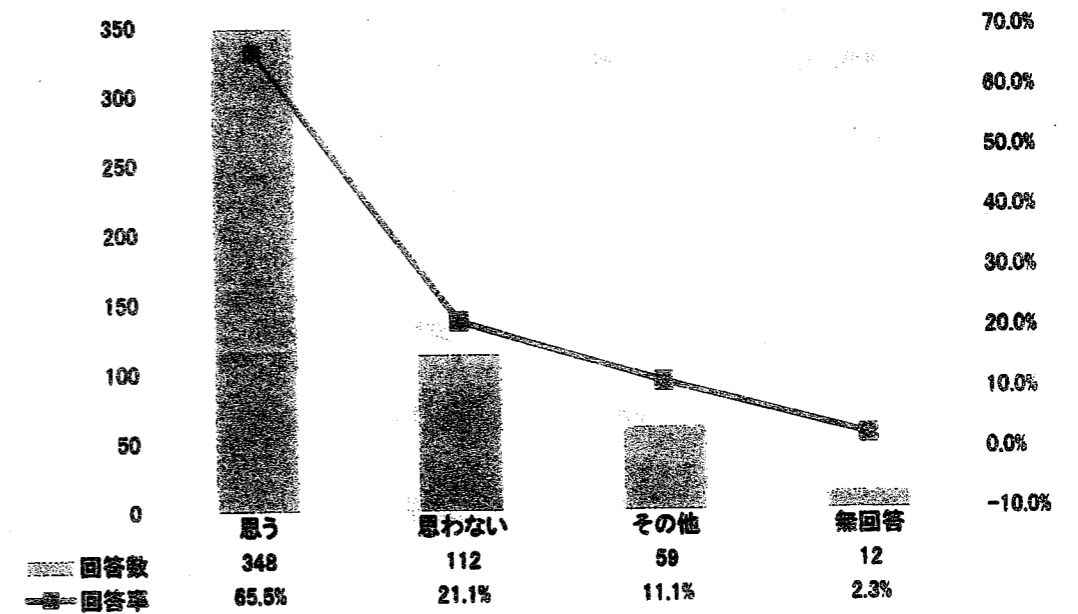
【集計結果の要点】
年齢別人口は、10歳階級別人口で調査した。回答者の年齢区分は、「60歳代」が最も高い。また、「60歳代」の回収率が高いことから、関心の高さが伺える。

ご近所との関わりについて教えてください。



【集計結果の要点】
「立ち話をする程度」が45.2%と高く、ついで「挨拶程度」が34.7%を占めている。

あなたは今後も今住んでいるところに住み続けたいと思いますか？

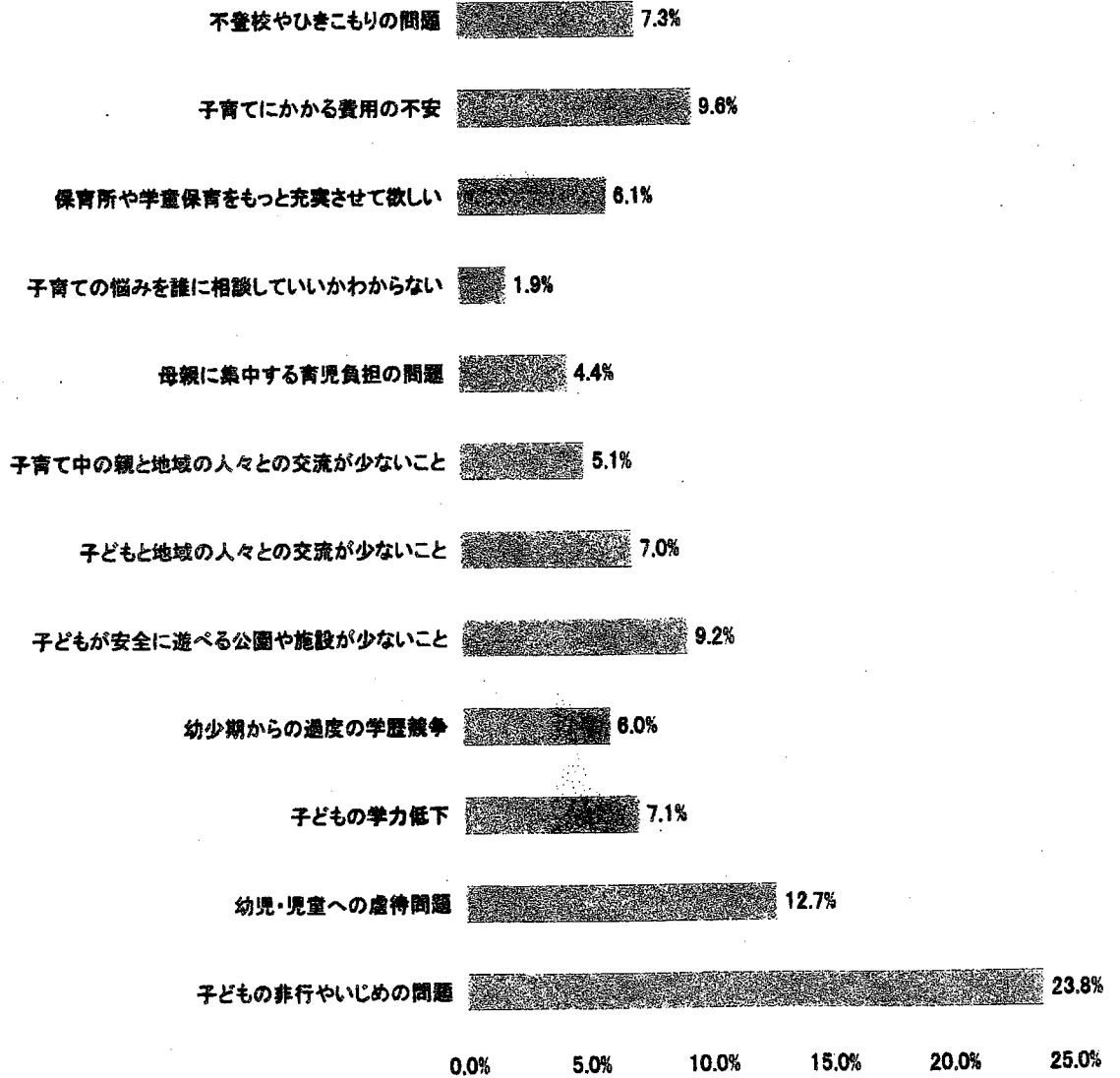


【集計結果の要点】
今後も上牧町に住み続けたいと思う回答者が、65.5%と多くを占めている。

あなたが特に何とかしなければいけないと感じていること(くらしの課題)を選んでください。

児童育成・子育て関連

	回答数	回答率
1 子どもの非行やいじめの問題	310	23.8%
2 幼児・児童への虐待問題	166	12.7%
3 子どもの学力低下	93	7.1%
4 幼少期からの過度の学歴競争	78	6.0%
5 子どもが安全に遊べる公園や施設が少ないこと	120	9.2%
6 子どもと地域の人々との交流が少ないこと	91	7.0%
7 子育て中の親と地域の人々との交流が少ないこと	68	5.1%
8 母親に集中する育児負担の問題	57	4.4%
9 子育ての悩みを誰に相談していいかわからない	25	1.9%
10 保育所や学童保育をもっと充実させて欲しい	79	6.1%
11 子育てにかかる費用の不安	125	9.6%
12 不登校やひきこもりの問題	95	7.3%
総回答数	1305	100.0%



シンポジウム

つながりで^{つむ}紡ぐ福祉のまちづくり

コーディネーター：竹之下典祥氏

- 京都文教短期大学准教授
- 上牧町地域福祉活動計画策定員

パネリスト：藤井照雄氏

- 上牧町民生児童委員会会長
- 小地域ネットワーク「滝川台ネット」代表
- 上牧町地域福祉活動計画策定員

室谷由美氏

- 上牧町ボランティア連絡協議会代表
- 上牧町地域福祉活動計画策定員

尾崎由子氏

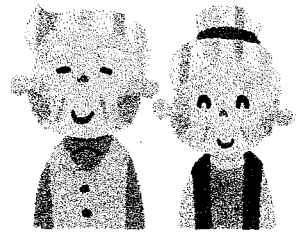
- 上牧町地域福祉活動計画策定員（住民代表）

福祉のまちづくりフォーラム

～つながりで紡ぐ福祉のまちづくり～

上牧町社会福祉協議会では地域福祉の向上のため、みなさまとともに活動を行なっています。この度、より計画的に上牧町のより良い地域福祉の向上のため「地域福祉活動計画」を策定致しました。地域福祉活動計画とは地域住民や行政、関係団体などが協働して福祉の町づくりを勧めるための計画です。

フォーラムでは日頃から地域で活躍されている住民の方をパネリストとしてお迎えし、「地域福祉活動計画」の内容やこれからの福祉のまちづくりについてお話頂きます。皆様のご参加をお待ちいたしております。



日 程：2月9日(土) 13:30～15:30(13:00受付開始)

場 所：上牧町保健福祉センター(2000 年会館)
多目的室

内 容：・開会の挨拶
今中 富夫 上牧町社会福祉協議会会長

・地域福祉活動計画について(解説)
講 師：岡野 英一氏 龍谷大学教授

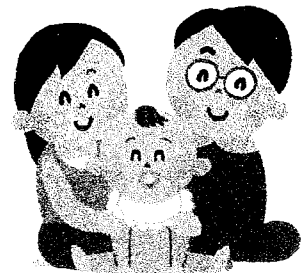
・シンポジウム『つながりで紡ぐ福祉のまちづくり』

コーディネーター：竹之下 典祥氏 京都文教短期大学准教授

パネリスト：藤井 照雄氏 上牧町民生児童委員協議会会長

室谷 由美氏 上牧町ボランティア連絡協議会会長

尾崎 由子氏 住民代表



※申込は不要です。当日、直接会場までお越しください。

【問い合わせ先】

社会福祉法人上牧町社会福祉協議会

上牧町上牧 3245-1 TEL 76-6098 FAX 79-0895